

# 石粋塾入塾申込書

年 月 日

フリガナ			
入塾希望者名		印	写真添付
塾構成	正会員・賛助会員・塾生		
	名簿掲載の有無		
生年月日	有 無	西暦	年 月 日生満 歳
自宅住所	有 無	〒 —	
自宅電話番号	有 無	— —	
携帯電話番号	有 無	— —	
PCアドレス	有 無	@	
携帯アドレス	有 無	@	
勤務先名 (学生の場合は学校名)	有 無		
役職	有 無		
勤務先住所 (学生の場合は学校住所)	有 無	〒 —	
勤務先電話番号	有 無	— —	
入塾希望動機			
紹介者		紹介者確認印	印
紹介者		紹介者確認印	印
紹介者コメント			

世話人会の承認後、年会費2,000円の納入をもって正式メンバーとなります。

せき すい じゆく  
石 粋 塾

# 「軟石万灯神輿」名入れ弓張り提灯 協賛のお願い

札幌市南区の石山緑地公園、この公園を中心に南北に広がる「札幌軟石の採掘跡地」が今でも当時の姿をそのままに見る事が出来、そこに立つと活気に溢れていた石工職人の息吹が今でも聞こえてくる様な感慨に胸打たれます。

石粋塾は「札幌軟石」に思いをはせた有志が集まり、その魅力を感じあい、活気溢れるまちづくりを目指して平成20年に発足し、様々な活動をしております。

「札幌軟石」採掘跡地の壮大な切り羽を見ながら歴史を肌で感じあえる様にと、この採掘跡地にて「石粋塾のつどい」のイベントを毎年開催し、今年で5年目を向かえました。

現在、石粋塾の発足当初からの悲願であります軟石万灯神輿の作製を、平成26年9月の完成を目指して準備を進めております。

つきましては、趣旨にご賛同頂き、神輿作製の資金の一部として、協賛して頂ける方を広く募集しております。

皆様方の熱いご支援、心よりお願い申し上げます。

切 り 取 り 線

「軟石万灯神輿」名入れ弓張り提灯  
申込み用紙

受付日：平成 年 月 日 / 受付者

御芳名			名入れ文字を縦書きにてご記入下さい。
御住所	〒 _____		
連絡先			
申込み提数	提	※ 一提 ¥15,000円(名入れ代含)	
入金方法	現金・振込 ※ ○印をお願いいたします。		
振込口座	北央信用組合 藻南支店 普通 2103692 口座名：石粋塾		
入金予定日	平成 年 月 日	※ 恐れ入りますが、振込手数料をご負担ください。	注 株式会社・学校法人等は(株)(学)となります。

申込み用紙返信先 石粋塾事務局 FAX 011-591-0264  
お問い合わせ先 石粋塾事務局 TEL 090-3110-2007 (西村)

# まちを元気にしたいと思っている貴方！！

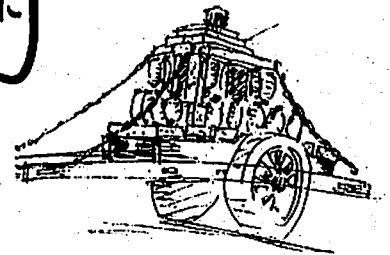
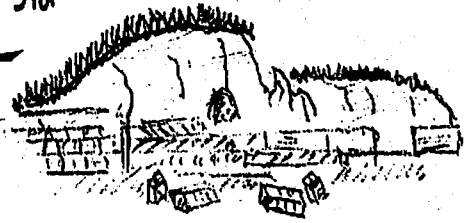
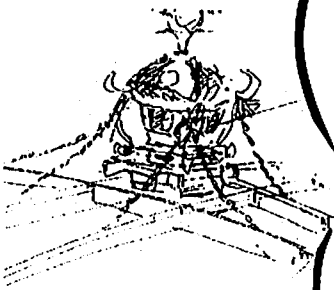
## 生まれ育ったまちに感謝の気持ちを忘れず

## 今こそ立ち上がり、まちを元気にしたい

## 故郷に思い寄せる有志が集い2010年『石粋塾』が産声をあげた

### 私たちの思い

ひっそりと、そして雄大に佇んでいる  
私たちの暮らす札幌の歴史的文化でもある札幌軟石採掘跡からは  
当時の活気に満ちた息吹を感じる。  
この札幌軟石に思いを馳せ、軟石文化に触れながら  
次世代の子供たちからお年寄りまでがいきいきと暮らせる  
『心かよう活気に満ちた個性溢れる魅力あるまち』にするために  
思いを寄せる有志が集まったのが「石粋塾」です。  
楽しく集い、語り合い、お互いを信じあい、絆を深め  
一步一步実現に向け歩んでいきます。



## 2014年に迎える石山神社130周年に向けた軟石神輿の製作と神輿渡御

### 軟石伐羽祭・軟石加工技術継承、加工体験

軟石採掘跡を活用した軟石ミュージアムの提唱などなど・・・

## 実現に向け私たちと一緒に活動しましょう！！

軟石万灯神輿

弓張り提灯

名入れ 募集中

「札幌軟石」に秘められた魅力を取り入れ、心地よい自然観を感じさせるような神輿を作製します。

大募集



募集内容：提灯への名入れ書き ※個人・法人は不問  
募集期間：平成25年7月より随時受付開始(予定口数にて打ち切り)  
提灯代：一提 ¥15,000円(名入れ代含、複数購入可)  
募集個数：壹百提  
完成年度：平成26年9月予定

問い合わせ：石粋塾 札幌市南区石山1条3丁目2-2 Tel 070-6601-0878(西村)

※ イラストはイメージです。

### 石山の市民団体

# 札幌軟石みこしに

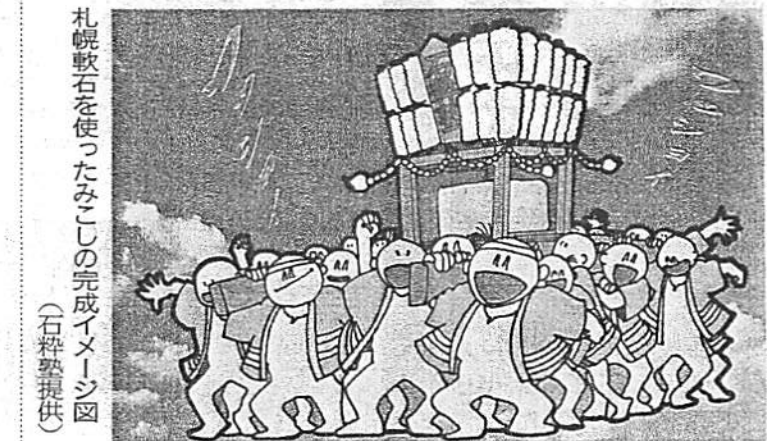
札幌市南区石山で採掘され、明治時代の洋風建築に多用された「札幌軟石」を地域の活性化に生かそうと、石山地区の市民団体「石粋塾」(藤田貴良代表)が軟石を使ったみこし作りを計画し、協賛金を募っている。(久保田昌子)

## 神社創祀130年 制作協賛金を募集

石粋塾は2008年 200万円。資金調達のため同塾は5年前から毎年、石山地区でイベントを開いてきたが、それでも足りないことから、7月から協賛金を集めることにした。1口1万5千円で、みこしのちょうちんに個人名や社名を入れることができる。募集は100口。事務局の西村さんは「地元の祭りやイベントにみこしを活用し、軟石の歴史を伝えていきたい」と話している。

石粋塾は2008年に石山地区で花屋を営む西村尚之さん(50)が呼びかけ、約30人で設立。地元の石山神社が来年で創祀130年になるのに合わせ、みこし作りを企画した。みこしは、上部にちょうちんを飾った「万灯みこし」。かつぎ棒の長さ約6尺、幅約2尺、高さは上、下部合わせ約2尺。軟石は普通の石より軽いとされるが、それでもかなり重いため、下部の木枠の一部に軟石を使用するのとどめるなどして、かつぎやすいように工夫する。制作や管理費用は約

200万円。資金調達のため同塾は5年前から毎年、石山地区でイベントを開いてきたが、それでも足りないことから、7月から協賛金を集めることにした。1口1万5千円で、みこしのちょうちんに個人名や社名を入れることができる。募集は100口。事務局の西村さんは「地元の祭りやイベントにみこしを活用し、軟石の歴史を伝えていきたい」と話している。



札幌軟石を使ったみこしの完成イメージ図 (石粋塾提供)

マイたうん 札幌